

平成29年 3月31日

薩摩川内市議会

議長 新原 春二 様

（会派代表者経由）

会派の名称 脱原発の会

経理責任者氏名 井上 勝博



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、平成28年度政務活動費（後期）に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調査研究費	110,378円	1/2・28 甕島 2/4～6 福島県
研 修 費		
資料作成費		
資料購入費	10,770円	くらしに役立つ制度のあらまし、生活と健康を守る新聞など
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	121,148円	

3 残余の額

0 円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

平成29年3月31日

薩摩川内市議会
議長 新原 春二 様

会派の名称 脱原発の会
代表者名 井上 勝博



活動報告書

1 調査研究事業

(1) 甌島の漁業について

(ア) 調査日時 平成29年1月2日

(イ) 調査参加者 橋口 芳

(ウ) 調査及び調査事項

甌島の漁業の実態把握

(エ) 調査の概要

海の安全祈願に参加するとともに、漁師の方々との意見交換を通して、魚を加工した特産品の議論等を行った。

(2) 原子力防災訓練

(ア) 調査日時 平成29年1月28日

(イ) 調査参加者 橋口 芳

(ウ) 調査及び調査事項

甌島における原子力防災訓練の視察

(エ) 調査の概要

原子力防災対策としての防災訓練が県内各地であり、甌島ではどんな訓練をするのだろうと視察したが、参加者全員が危機意識がなく、マニュアル通りの訓練であり、訓練自体必要性を感じなかった。

(3) 福島県いわき市を拠点に東京電力福島第一原発の周辺自治体を視察

(ア) 調査日時 平成29年2月4日～6日

(イ) 調査参加者 井上 勝博、橋口 芳

(ウ) 調査及び調査事項

福島県いわき市 福島第一原発事故の影響調査

(エ) 調査の概要

別紙のとおり

視察報告書

平成29年 3月31日

薩摩川内市議会
議長 新原 春二 様

会派名 脱原発の会
代表者名 井上 勝博



政務活動費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

1 視察年月日

平成29年 1月 2日 (月)

2 視察参加者

橋口 芳

3 視 察 先

下甕町手打

4 視 察 目 的

甕島の漁業の実態把握

5 視察の概要

海の安全祈願に参加するとともに、漁師の方々との意見交換を通して魚を加工した特産品の議論等を行った。

6 所 感

海上での漁は命がけであり、漁師の方々の海の安全に対する思いを深く感じた。今年も漁の安全と大漁を祈りたいものである。また、大重会長から魚を加工した特産品を紹介されるなど、特産品の議論をしたところである。議員としても甕島の産業育成に精力を尽くしてかなければならないと思った。

視察報告書

平成29年 3月31日

薩摩川内市議会
議長 新原 春二 様

会派名 脱原発の会
代表者名 井上 勝博



政務活動費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

- 1 視察年月日
平成29年 1月28日(土)
- 2 視察参加者
橋口 芳
- 3 視 察 先
里町、上甕町
- 4 視 察 目 的
原子力防災訓練
- 5 視察の概要
原子力防災対策としての防災訓練が県内各地であり、甕島の訓練内容を視察した。
- 6 所 感
甕島ではどんな訓練をするのだろうと視察したが、参加者全員の危機意識がなく、マニュアル通りの訓練であり、訓練自体必要性を感じなかった。

視察報告書

平成 29 年 3 月 31 日

薩摩川内市議会
議長 新原 春二 様

会派名 脱原発の会
代表者名 井上勝博



政務活動費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

- 1 視察年月日
平成 29年 2月 4 日(土)～平成 29年 2月 6日(月) 3日間
- 2 視察参加者
橋口芳、井上勝博
- 3 視察先
福島県いわき市と福島第一原発の周辺自治体
- 4 視察目的
福島第一原発事故の影響調査
- 5 視察の概要
別紙
- 6 所 感
原発事故がひとたび起こると取り返しのつかない事態をつくる。それは原発立地の経済的恩恵など吹っ飛んでなくなるほどの経済的損失だけではない。家族やコミュニティがばらばらになり、福島出身というだけでいじめにあうなどの精神的苦痛を伴うものだ。福島原発事故の教訓から学ぶとしたら「原発と人類は共存はできない」ということだ。

福島視察（2017年2月4日～6日）概要

2017年3月

報告者 脱原発の会 代表 井上勝博

福島第一原発事故から6年目を迎えようとしています。今、福島はどうなっているのか。2月4日から6日の2泊3日、市議会会派「脱原発の会」として視察してきました。

福島の避難者は県外41,051人（昨年12月28日時点）、県内39,878人（1月16日時点）、不明20人です。震災後に震災・原発事故が原因で死亡したと見られる震災関連死は16年12月末で2,109人となり、住民の長く続く苦しみはもはや限界を超えています。

政府・東電は避難指示区域外からの避難者の唯一の経済的支援である住宅補助を打ち切ろうとしており、就労損害補償を15年2月で打ち切っています。さらに営業損害補償は2年分の一括払いで15年2月に打ち切ろうとしましたが、怒る県民の声で3年分一括払いになりました。しかし、損害が続く限り賠償するのは当然という常識を東電は無視します。

政府はオリンピック前までに事故の集結を宣言するために住民帰還を急がせようとしていますが、すでに帰還宣言を出している5市町村（田村市の一部、川内村、楢葉町、葛尾村、南相馬市の一部）の19,460人の人口のうち戻った人は2,561人（13・1%）に過ぎません。

楢葉町の人口7,281人のうち帰還した人は767人（12月末）と帰還率は10・42%でしかありません。楢葉町の宝鏡寺住職の早川篤雄さんは「若い人がもどりたがらない」「原発事故は『避難計画』ではなく『移住計画』が必要」と指摘します。

また、戻ってきた人も震災前は池に鯉を飼ったり、盆栽をしたり、小鳥を飼っていたが「今は何もせず、好きなこともしなくなっている」と言います。原発事故は、人々から生きる元気や目標を奪ってしまいました。

福島視察団を3日間とも案内してくれた原発事故被害いわき市民訴訟原告団の伊東達也さんは、住民が戻らない理由に「自宅が住める状態ではない」「インフラ復旧の遅れ」「放射線の不安」「第一原発の収束過程への不安や第二原発が廃炉決定をしていない不安」「避難先から離れられなくなっている」などを挙げます。長期の避難生活は様々な問題を起こしています。

伊東さんは「帰った人への支援と帰れない人の支援が必要です。福島の復興は極めて長い期間の闘いになります」と福島の抱える困難さを語ってくれました。

政治家は福島から学んで欲しい（仮設住宅自治会長の話）

以下は、福島県楢葉町上荒川応急仮設住宅自治会会長 箱崎豊さんの話を聞き手（井上）の責任でまとめたものです。

上荒川仮設住宅は楢葉町の仮設住宅でも一番大きく当初は241世帯が住んでいたが、いわき市に家を建てたり、子どもの世話になったりと100世帯くらいが退去している。

農家が多いのでローンを組んで大きな家を建てるなどして普通に暮らしているところへ、原発事故が起こり強制的に避難させられた。仮設住宅はひとり4畳半の広さとなっているが家具などを入れれば実際には3畳くらいの狭いスペースしかない。夏は暑く、冬は寒い。劣悪な状態であると言います。

政治家は、私たちの暮らしをじっくり見てどうやってまちづくりをすすめていくのかをいっしょに考えてくれるのではなくて、金を出せばそれですむと思っているようだ。まったく原発事故から何も学ぼうとしていない。新潟県知事は福島の大規模なしには原発を動かさなと言っているが全くその通り。

私は自民党支部の会計を長年やってきて自民党政治家に懇親会の席で我々被災者から学んで欲しいと言っているが、「あとは金目でしょう」という石原伸晃さんと同じような態度だ。金を出すからまちづくりは自分たちでやりなさいと言う事だ。福島第二原発も廃炉にせよと福島県議会をはじめとして県内すべての議会が決議しているのに政府は一企業で決める事という態度だ。

自然を甘く見てはいけない。日本列島は火山、地震、風水害がどこでおこるかわからない。自然災害は仕方がないが、人工的な災害は絶対に起こしてはならない。ところが電力会社は、お金をばら撒いて煙幕を張り、安全対策を怠って来た。後で報道で知ったが津波の多い地域なのに海拔5メートルのところに原発をつくるなど非常識だ。

楡葉町は去年9月に避難解除がされ、3月以降本格的な帰還が始まるが、お年寄り先祖の時代から守ってきた土地だから帰りたと思う反面、車の運転ができなければ生活できない、子どもからは帰るなと言われたり、福島第一原発の予期せぬ事故がおこるかも知れないから終の住処にできないなどと悩んでいる。

福島第一原発4号機は「工事ミス」で救われた

今回の福島に出かけて行って、驚いたのは福島第一原発の4号機は、工事ミスによって救われたという話でした。いわき市議会議員の渡辺博之さんは「東電福島第一原発の事故で日米両政府が最悪の事態の引き金になると心配していた4号機の使用済み核燃料の加熱・崩壊は、震災直前の工事の不手際と、意図しない仕切り壁のずれという二つの偶然もあってすぐわれた」というのです。

渡辺さんは、図面を示して解説してくれました。原発を津波が襲ってすべての電源が供給されなくなりました。4号機の使用済み核燃料はプールに沈んでいました。通常は、循環している水によって核燃料は冷却されるのですが、電源停止で循環ポンプが止まると燃料の崩壊熱によって蒸発をしていきます。核燃料が水中から出てむき出しになり、大量の放射能が空気中にまき散らされるところだったのです。ところがプールのとなりの原子炉ウエルに貯めていた水が偶然にも仕切り壁のずれしたところからプールに入り込み核燃料がむき出しにならずに済んだのでした。これは全くの偶然のことだったというのです。実は順調に定期検査が進んでいれば事故をおこす4日前には原子炉ウエルの水は完全に抜いていたはずだからです。工事ミスのために検査が延びていたことが命拾いになったというのです。もし原子炉ウエルに水がなかったら強い放射線のために作業員が現場に近づくことができずに半径250キロの範囲は強制退避となっていたという話を身の凍る思いで聞きました。

以上

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	高速船代
(領収書等貼付面)			
領 収 書 税原発の会 橋口 芳 様		平成29年1月2日	
￥3,380—		印 紙	
但 上記正に領収いたしました 鹿児島県いちき串木野市西薩町12番地 九洲海運株式会社 〒891-3221 ※保管上のお願 印刷面を内側に折って保管願います。			
(事業名, 使途及び内容等)			
甑島の漁業の実態把握			
(備考)			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	高速船化
(領収書等貼付面)			
<p>領 収 書</p> <p>鹿原発の会 橋口 芳 様</p> <p>平成29年1月28日</p> <p>¥3,380-</p> <p>印 紙</p>			
<p>但 上記正に領収いたしました 鹿児島県いちき串木野市西薩町1-1 九州海運株式会社 TEL 0996-32-2161</p> <p>※保管上のお願 印刷面を内側に折って保管願います。</p>			
(事業名, 使途及び内容等)			
<p>甑島における原子力防災訓練の視察</p>			
(備考)			


政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	高速船代
(領収書等貼付面)			
<p>領 収 書</p> <p>脱原発の会 橋口芳 様</p> <p>¥3,380-</p>		<p>平成29年1月28日</p> <p>印 紙</p>	
<p>但 旅客運賃代として 上記正に領収いたしました 鹿児島県薩摩川内市里町里 甕ポートサービス(株) TEL 09969-3-2013</p> <p>※保管上のお願い 印刷面を内側に折って保管願います。</p>			
(事業名, 使途及び内容等)			
<p>甕島における原子力防災訓練の視察</p>			
(備考)			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			
<p>Solaseed Air</p> <p>脱原発の会 領収書 井上 勝博 様</p> <p>¥14,290 (税込) (クレジット支払い ¥14,290含む: LIFEカード)</p> <p>但し、旅客運賃料金として、 上記の金額正に領収致しました。 株式会社ソラシドエア</p> <p>1. 2月4日 SNA 72 便 鹿児島⇒東京</p> <p>購入日: 17-01-05 発行所: 01079999 発行日: 17-02-04 TKT: K61ZPW</p> <p>本領収書は再発行不可となります。 端末番号: 3422 * 19785</p>			
(事業名, 使途及び内容等)			
旅客運賃 (鹿児島空港 → 羽田空港) 井上			
(備考)			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			
			
脱原発の会 橋口 芳		領 収 書 様	
￥14,290 (税込) (クレジット支払い ￥14,290含む:LIFEカード)			
但し、旅客運賃料金として、 上記の金額正に領収致しました。 株式会社ソラシドエア			
1. 2月4日 SNA 72便 鹿児島⇒東京			
購入日:17-01-05 発行所:加那利		本領収書は再発行不可となります。	
発行日:17-02-04 TKT:7612NN		端末番号:3422 *19785	
(事業名、使途及び内容等)			
旅客運賃(鹿児島空港→羽田空港)橋口			
(備考)			

印紙税申告納
付につき宮崎
税務署承認済

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			

領 収 証

2017年 2月 4日

脱原発の会 様

金 11,100円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
東京訪日セ712 No.000005

(事業名、使途及び内容等)

JR特急 川口駅 ← 東横駅 (橋口-井土)

(備考)

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			

2017/1/5

[SKYMARK WEB SERVICE]

		HCVHE5 2017年1月5日/5JAN2017
領収書 RECEIPT		
宛名 RECEIVED FROM	橋口 芳	様
金額 THE SUM OF	¥ 7,990 -	税込み TAX INCLUDED
但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 In payment of passenger air fare received the above amount.		
お支払い方法 PAYMENT METHOD	クレジットカード/CREDIT CARD	
本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。 This is an electronic display of receipt data.		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.

明細書
DETAILS

■お客様情報 / Passenger Information

お名前	年齢	性別
HASHIGUCHI HOU	59	男

■ご旅程 / Itinerary

日付	便名	出発地	到着地	運賃/手数料/その他	収受金額
2017/02/06	SKY307	羽田 18:15	鹿児島 20:20	いま得	7,990円
				合計金額	7,990円

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			

2017/1/5

[SKYMARK WEB SERVICE]

		ICJVNB 2017年1月5日/5JAN2017
領収書 RECEIPT		
宛名 RECEIVED FROM	井上 勝博	様
金額 THE SUM OF	¥ 8,990 -	税込み TAX INCLUDED
<p>但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 In payment of passenger air fare received the above amount.</p>		
お支払い方法 PAYMENT METHOD	クレジットカード/CREDIT CARD	
<p>本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。 This is an electronic display of receipt data.</p>		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.

明細書
DETAILS

■お客様情報 / Passenger Information

お名前	年齢	性別
INOUE KATSUHIRO	58	男

■ご旅程 / Itinerary

日付	便名	出発地	到着地	運賃/手数料/その他	収受金額
2017/02/06	SKY307	羽田 18:15	鹿児島 20:20	いま得	8,990円
合計金額					8,990円

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
2月4日	980円	東京モノレール	① 490円 羽田空港～浜松町 490円×2人	領収書発行無
2月6日	980円	東京モノレール	② 490円 浜松町～羽田空港 490円×2人	領収書発行無
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
合計	1,960円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成29年 3月31日

会派名 脱原発の会
代表者 井上 勝博



政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	宿泊代
(領収書等貼付面)			

No. 002831

領 収 証

脱 原 登 の 会

様

29年 2月 4日

* 726,000 -

但 宿泊代として
上記の金額正に領収いたしました

収入印紙

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

JOINTEX 160-870

福島県いわき市四倉町字6丁目164の2

株式会社太平洋健康センター

TEL(0246)32-2500

代表取締役 氏 家 幸 夫

係印

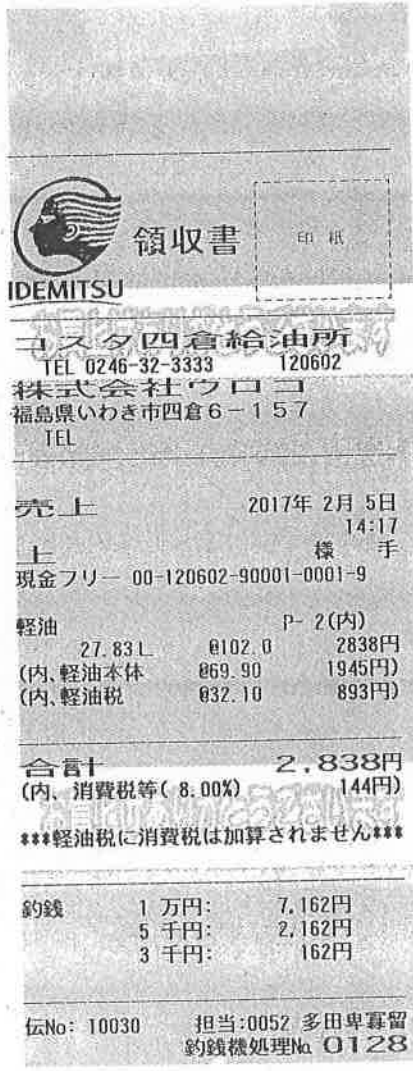
6,500円 × 2人 × 2泊

(事業名, 使途及び内容等)

(株)太平洋健康センター (橋口、井上)

(備考)

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号																					
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費																					
(領収書等貼付面)																								
 <p>領収書 印紙</p> <p>IDEMITSU</p> <p>カスタム四倉給油所 TEL 0246-32-3333 120602</p> <p>株式会社ワロコ 福島県いわき市四倉6-157 TEL</p> <p>売上 2017年 2月 5日 14:17 上手 様 手 現金フリー 00-120602-90001-0001-9</p> <table border="1"> <tr> <td>軽油</td> <td></td> <td>P-2(内)</td> </tr> <tr> <td>27.83L</td> <td>0102.0</td> <td>2838円</td> </tr> <tr> <td>(内、軽油本体)</td> <td>069.90</td> <td>1945円</td> </tr> <tr> <td>(内、軽油税)</td> <td>032.10</td> <td>893円</td> </tr> </table> <p>合計 2,838円 (内、消費税等(8.00%) 144円)</p> <p>***軽油税に消費税は加算されません***</p> <table border="1"> <tr> <td>釣銭</td> <td>1万円:</td> <td>7,162円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5千円:</td> <td>2,162円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3千円:</td> <td>162円</td> </tr> </table> <p>伝No: 10030 担当:0052 多田卓真留 釣銭機処理No 0128</p>				軽油		P-2(内)	27.83L	0102.0	2838円	(内、軽油本体)	069.90	1945円	(内、軽油税)	032.10	893円	釣銭	1万円:	7,162円		5千円:	2,162円		3千円:	162円
軽油		P-2(内)																						
27.83L	0102.0	2838円																						
(内、軽油本体)	069.90	1945円																						
(内、軽油税)	032.10	893円																						
釣銭	1万円:	7,162円																						
	5千円:	2,162円																						
	3千円:	162円																						
(事業名、使途及び内容等)																								
<p>乗用車燃料代 (レンタカー)</p>																								
(備考)																								

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			
<p>領 収 書 2017年02月06日-006 メータ運賃 ¥1,680円 合計 ¥1,680円 現金支払 ¥1,680円 車両番号 333 毎度ご乗車ありがとうございます。 (株)尼子タクシー (株)平タクシー ☎ 0246-21-1234 お忘れ物やお気付きの点は 当社までご連絡下さい。</p>			
(事業名、使途及び内容等)			
タクシー (板設住宅→川崎駅)			
(備考)			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	交通費
(領収書等貼付面)			

領 収 証

2017年 2月 6日

脱原発の会 様

金11,100円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
びゅういわき701 No.000004

(事業名、使途及び内容等)


JR特急 浜町駅 ← いわき駅 (橋口・井上)

(備考)

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	資料購入費	支出内容	書籍
(領収書等貼付面)			
<p>領 収 証</p> <p>脱原発の会 No. _____</p> <p>井上 勝博 様 2017年1月8日</p> <p>★ ¥4,266-</p> <p>但 本代(3冊)</p> <p>上記正に領収いたしました</p> <p>内 訳</p> <p>税抜金額 _____</p> <p>消費税額等(%) _____</p> <p>ココヨ ウケ-78</p> <p>かごしま平和書房 鹿児島市真砂本町42番9号 ☎099(25) _____ FAX099(256)8821</p>			
<p>(事業名、使途及び内容等)</p> <p>人口減少と地域の再編 1,350円</p> <p>大事なことは寛法が教えてくれる 1,600円</p> <p>あきらめないで役所からの差し押さえ 1,000円</p> <p style="text-align: right;">消費税 316円</p>			
<p>(備考)</p>			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	次刊購入費	支出内容	書籍
(領収書等貼付面)			
領 収 証 鹿原裕の会 井上 勝博 様 No. _____			
★ 6,000-			
内 訳	但 字289(南) 2016年4月~2017年3月分 17		収入印紙 
現金	2017年 2月 10日 上記正に領収いたしました		
小切手	/		
手形	/		
消費税額等(%)			
コクヨ ウケ-98	〒892-0815 鹿児島市易居町5-8 鹿児島県生活文化センター会連合会 (鹿生連) 電話 099-223-8493		
H28.12 ~ H29.3 4月分 $6,000円 \div 12月 = 500円$ $500円 \times 4月 = 2,000円$			
(事業名, 使途及び内容等)		H28.12 ~ H29.3 4月分 $6,000円 \div 12月 = 500円$ $500円 \times 4月 = 2,000円$	
(備考)		※ 改選により H28.12 ~ H29.3 の 4月分のみ該当	

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	治判購入費	支出内容	書籍
(領収書等貼付面)			
領 収 証		No. _____	
脱原発の会		2017年 2月19日	
井上 勝博 様			
★ 1,404-			
但本分(つながら、変える 私たちの立憲政治)として			
上記正に領収いたしました			
内 訳	かごしま平和書房		
税抜金額	鹿児島市真砂本町42番9号		
消費税額等(%)	☎099(25 FAX099(256)8821		
コクヨ ウケ-78			
(事業名, 使途及び内容等)			
つながら変える私たちの立憲政治			
(備考)			

政務調査費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	資料買入費	支出内容	書籍

(領収書等貼付面)

領 収 証
 脱原栄の会
 井上勝博 様 No. _____

★ 5,100 -

内 訳 _____
 現 金 _____
 小切手 / _____
 手 形 / _____
 消費税額等(%) _____

但し「L51に役立の制度のあり方」の金額
 2017年 3月 31日 上記正に領収いたしました

〒892-0815 鹿児島市易居町5-8
 鹿児島県生活と観光産業協会連合会
 (鹿生連)
 電話 099-223-8493



コクヨ ウケ-98

(事業名, 使途及び内容等)
 L51に役立の制度のあり方 2016:2017年度

(備考)